

各地青年部活動報告

ブロック名 : 関東ブロック

報告日 : 2015年3月2日

報告者 : 渡辺 修

1. 各都道府県青年部の活動報告

都道府県名	年月日	活動要旨
東京都	2015/01/20 2015/04以降	親会合同 東構協の新年賀詞会 婚活事業を始動予定
埼玉県	2015/01/17 2015/02/27 2015/03/04 2015/03/11	第7回役員会 第8回役員会 4県（群馬・栃木・長野・埼玉）合同研修会 JASC埼玉合同講習会・勉強会
神奈川県	2015/01/10 2015/01/23 2015/02/14	臨時役員会 新年賀詞交歓会・組合40周年記念式典 関東BC平成26年度研修事業
千葉県	2015/01/17 2015/03/06 2015/03/27	新年会 研修事業（ボルト・メッキ工場見学） 役員会
茨城県	2015/02/20	研修事業（工場見学会及び懇親会）
栃木県	2015/03/05 2015/03/14 2015/04/24	全体会議 4県合同研修会（群馬・長野・埼玉・栃木） 総会（群馬県太田市にて）
群馬県	2014/01/15 2014/02/07	全員協議会 新年会
山梨県	2014/03/04 2014/03/04 2015/01/23	全員協議会 4県（群馬・栃木・長野・埼玉）合同研修会 山梨県鉄構溶接協会新年互礼会
新潟県	2015/02/23 2015/1/	役員会 県青年部会の予定なし
長野県	2015/2/ 2015/02/03	各支部の新年例会予定 役員会

2. ブロックの活動報告

年月日	活動要旨
5/17/2014	平成26年度 第23回通常総会 栃木県宇都宮市『ホテルニューイタヤ』
5/17/2014	第一回役員会
8/23/2014	第二回役員会
10/18/2014	第三回役員会
12/20/2014	第四回役員会
2/14/2015	研修事業 担当県：神奈川

3. 構造設計者との交流活動の状況報告

年月日	内容
8/26/2014	JSCA座談会開催『設計者の考えをどの様に生かしきれるか』園部先生
2014/06/11	JSACA神奈川との交流会（親会主催）に協力
11/26/2014	JSCA千葉との交流会
2015/03/11	JSCA埼玉合同講習会『溶接欠陥サンプル』

4. 近況報告（その他）

都道府県名	内 容
東京都	Hグレード 秋頃～年内いっぱい、Mグレード 2～5ヶ月程度、Rグレード 1ヶ月程度、見積の引き合いは777によって改修工事特に多く、全体的に引き合いは多い。現場の工期遅れが製作に影響、工事案件が旺盛で薫・トラックの手配に苦慮している。外注作図屋も忙しい様子。
埼玉県	<ul style="list-style-type: none"> 各社手持ち量は確保しているようです。 図面の承認が遅く加工時間に影響が出てきております。 トラック・重機の手配困難
神奈川県	Hグレードは半年から1年先まで埋まってきている。Mグレードも比較的堅調であるが、工場によりばらつきが見られる。Rグレード他は埋まっている工場と薄い工場の2分化している。金額的には、単価・価格の上昇が見られるが、昨年度よりは鈍い。一次加工納期の遅れ、職人手配の困難などの課題は依然見受けられる。
千葉県	工期、単価のない物件が多く出回っている。県内耐震物件が毎年不調で、未だにかなりの物件が再見積となっている。 人手不足の為、無理をしてまで受注をしない状況
茨城県	どのグレードも手持ちの仕事量は確保している状況です。見積りは相変わらず多く受注につながっている状況です。職人不足は相変わらずで特に溶接工の確保が厳しいようです。一次加工は以前より落ち着きを取り戻した状況です。
栃木県	<ul style="list-style-type: none"> 見積りは秋口の物件の問い合わせが多くなっている。 施工図、現寸作業が遅れている状況。承認待ちの物件が多い。 運搬と重機の手配が難しい。 追加工事をお断りしている会社もある。
群馬県	見積量は増えてはいるが、単価は上がらず。理由として、各社それぞれ昔からの付き合いしているゼネコンの為、単価が上げ難い。物件数は増えているが年明けは少し鋼材の動きは悪い。工場稼働率80%～120%とまちまち。
山梨県	地場物件は見積り実物件共にほとんど無し、たまに物件が発注になっても工期がなさ過ぎて対応不可能。ほとんどのグレードのある工場は東京を中心とした県外物件の仕事をしている、地場物件はタイミングよく空いていれば対応するというスタイルだ。ゼネコン、商社共に建方前に材料費及び工場出来高にて支払をしてもらえる事が浸透してきている。
新潟県	年明け全体に動きは鈍いです。（雪国のハンデあると思いますが）しかしこれが例年並みかと思いません、春の仕事としては3.4月かと思いません。しかし施工主、GC共、話出てくるのは数年前より早めの感じがします。しかし施工主、GC共、話出てくるのは数年前より早めの感じがします。 昨年の仕事量は2～3割落ち込んだと思いますが、8割総業でも利益だせるのは理想的だと思います。しかしながら相変わらず遅れによる工程管理（受注管理）が難しいです、
長野県	<ul style="list-style-type: none"> 稼働率は各社とも90～100%。手持ち量は地域によってばらつきはあるが、概ね6月くらいまでは埋まっていて、上位グレードは8月、年内近くまでである。 地場物件に関しては見積りも含め、官・民共少ない。地域によっては取合いにより厳しい指値を押し付けてくることもある。 鉄骨単価においては、ほぼ横ばい。 工程や図面の遅れ等で、一時的に繁忙感が緩和されている所もあるが、この先においては関東案件を中心に仕事量が増加傾向にあり、計画的な受注が必要。 あいかわらず職人不足、トラックの不足、ボルトの納期遅延など、対応に苦慮している点も多い。
関東共通	<ul style="list-style-type: none"> 各県山積はかなりあるようです。しかし職人不足と施工図の承認が遅くなっている物件が多く見受けられます。トラックと重機の手配が困難になってきております。